
須川 展也 Nobuya Sugawa, Saxophone

日本が世界に誇るクラシカル・サクソフォン奏者。デビュー以来長きにわたり、チック・コリア、ファジル・サイ、坂本龍一、西村朗、本多俊之、吉松隆、長生淳など名だたる作曲家への委嘱を継続。多くの作品が楽譜としても出版され、20-21世紀のクラシカル・サクソフォンの新たな主要レパートリーとして国際的に広まっている楽曲が多く、クラシカル・サクソフォンの領域への貢献は計り知れない。作曲家からの献呈作品も枚挙にいとまがない。

N響、都響など国内オーケストラのみならず、BBCフィル、フィルハーモニア管、イーストマン・ウインド・アンサンブル、パリギャルド・レピュブリケーヌ吹奏楽団など世界各国の著名オーケストラや、デュトワ、A.ギルバートなどの名指揮者たちと共演。ウィーンのムジークフェラインをはじめ、世界各地の檜舞台でリサイタルを行っている。また、これまで海外30ヶ国以上に招かれ公演やマスタークラスを行っており、管楽器の魅力を若い世代に伝える活動を精力的に継続している。

東京藝術大学卒業。サクソフォンを故・大室勇一氏に師事。第51回日本音楽コンクール、第1回日本管打楽器コンクールのいずれも最高位に輝く。出光音楽賞、村松賞を受賞。98年JTのTVCM出演、02年NHK連続テレビ小説「さくら」ではテーマ曲を演奏。

これまでに国内外のレーベルから約30枚のCDをリリース。新作の紹介に留まらず、ロン・カーターやマーティン・テイラーなど、他ジャンルの巨匠と共演したものもある。最新CDは自身初の無伴奏作品となる「パッハ・シーケンス」(令和2年度文化庁芸術祭レコード部門優秀賞受賞)。2014年に自叙伝「サクソフォーンは歌う!」を、また2021年に「絶対!うまくなる サクソフォーン100のコツ」を刊行。

89-10年まで東京佼成ウインドオーケストラ・コンサートマスター、07-20年までヤマハ吹奏楽団常任指揮者を歴任。現在は、イヅカ☆プラスフェスティバル・ミュージックディレクター、静岡市清水文化会館マリナート音楽アドバイザー&マリナート・ウインズ音楽監督を務めている。ソプラノ・サクソ奏者を務めるサクソフォン四重奏団トルヴェール・クワルテットは2022年に結成35周年を迎える。

東京藝術大学招聘教授、京都市立芸術大学客員教授。使用楽器：ソプラノ Sax：Y S S-875 E X G アルト Sax：Y A S-875 E X G (いずれもヤマハ株式会社)

<http://www.sugawasax.com>

FB twitter Instagram 更新中

YouTubeにて「須川展也のSAXTIPS(レッスン動画)」「須川家おうちライブ」公開中

トルヴェール・クワルテット Trouvère Quartet

1987年に須川展也・彦坂眞一郎・新井靖志・田中靖人の4人で結成した、世界トップレベルのサクソフォン四重奏団。結成30周年を迎えた2017年、神保佳祐がメンバーに加わった。92年東京国際音楽コンクール第2位、第5回日本吹奏楽アカデミー賞「演奏部門」受賞。98年にはTV朝日「徹子の部屋」への出演を機にその存在を広く一般にも知られるようになる。2000年にはオランダでの日蘭国交修好400年記念演奏会に招かれ各地で絶賛を浴びた。

2001年発売のCD「マルセル・ミュールに捧ぐ」は、第56回文化庁芸術祭レコード部門で大賞という快挙を遂げた。EMI他から多数CDがリリースされている。2017年2月に30周年記念CD「ティブシー・チューン」を発売(イマジンベストコレクション)。

「個性と融合」をコンセプトに、コンサートではサクソフォンのためのクラシカルな作品から、トルヴェールならではのオリジナル編曲作品までを展開。結成間もない頃よりピアニストの小柳美奈子も参加し、ボーダレスな活動内容が幅広い層に圧倒的な支持を得続けている。その音楽性と驚異的なテクニックによる緊密なアンサンブルが、世界最高峰のサクソフォン・クワルテットとしての評価を揺るぎないものとしている。

2022年、結成35周年を迎える。

http://www.concert.co.jp/artist/trouvere_quartet/

(令和4年8月現在・転載禁止)

公益財団法人 三井住友海上文化財団

〒104-0031 東京都中央区京橋 1-6-1 三井住友海上テブコビル 5階

TEL : 03-3562-9523 / FAX : 03-3535-7635